

兵庫県のカラスヨトウ亜科(その1)

兵庫県産蛾類分布資料・24

高島 昭

今回はヤガ科のうちカラスヨトウ亜科について述べる。ここで示したデータは2002年3月23日現在で入手した資料に基づいている。記載の要領はこれまでのものと同じである。なお、文献リストについては別報(本誌p.94-99)で紹介しているので参照してほしい(文献番号は連動している)。ところで、古い文献記録には、具体的な採集データが示されずに大雑把な地名と種名のみ列挙したものが多かった。これらの記録は後に必要が生じたときに個体の特定が不可能であるため、データとしては極めて不完全であるといえる。とくに「注目すべき種」であった場合、情報の信憑性そのものを大きく左右されることになる。しかしながら、ほかに同一産地産の記録がないことも多いため、これまでこのような不完全なデータであっても、本稿ではとりあえず記録として掲載してきた経緯がある。

一方で、人と自然の博物館で調査した収蔵標本には、これらの不完全な記録と同一産地、同一採集者の標本も多く確認できた。そこで、今後はこのような場合の取り扱いについて、次のように整理する。

- ①兵庫県立人と自然の博物館で確認できた標本のデータには★印を付す。
- ②文献記録に完全なデータが記載されていて、なおかつ同一データの標本を確認できた場合は「同一個体」とみなし、引用文献番号と★印を併記する。
- ③文献記録のデータが不完全であるなど、確認した標本と文献記録の根拠となった標本が同一個体であるという確証が得られない場合、文献番号は付さず未発表記録扱いとする。
- ④③の場合は、確認できた標本のデータを優先して掲載し、引用文献の不完全なデータは掲載しない。これらの処置により古い文献記録が淘汰されてしまう場合も生じるが、本稿では「初記録はいつか」よりも「信頼できる記録があるかどうか」を重視したいのでご了解願いたい。

なお、兵庫県立人と自然の博物館における収蔵標本の調査及び記録の掲載については、人と自然の博物館の中西明徳氏、八木剛氏に格別のご配慮をいただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げる次第である。

カラスヨトウ亜科 <AMPHIPYRINAE>

後翅M₂が発達せず中室の中央から発し、複眼に

毛を有せず複眼を覆う毛もなく中脚の脛節に針を有しないことで定義された Hampson の広義の Acronictinae から狭義の Acronictinae と Bryophilinae を独立させた残りが本亜科に相当する。したがってかなり異質な群の集合体となっている。ピロードヨトウ属 *Sidemia* からスジキリヨトウ属 *Spodoptera* まででは形態的に比較的まとまった一群で幼虫は地表性で草本類につき、時に茎根部への潜入者となる。しかしその他のものについてはかなり異質な群が混在していて亜科の細分が行われる可能性があるという。種群により北方系のもの、南方系のものが多くあり、日本には235種が知られているが、兵庫県から記録されているのは115種に過ぎない。

地域別に見ると、神戸52種、阪神67種、中東播南部21種、中東播北部47種、西播南部46種、西播北部70種、南但75種、北但35種、丹波53種、淡路北部22種、淡路南部50種となっている。山地性の種の比率が高いため西播北部から南但にかけては確認された種類数が多い。なお、本亜科は種類数が多いため、2回に分けて掲載とさせていただきます。

今回掲載分のうち、クロピロードヨトウ、ヒメハガタヨトウ、マエアカシロヨトウ、ヒメキイロヨトウ、ギンギシヨトウ、ヒメトガリヨトウ、キスジウスキヨトウ、テンスジウスキヨトウ、ヨシヨトウ、クシヒグウスキヨトウ、チビウスキヨトウ、クマソオオヨトウ、ウスキシタヨトウ、ナカジロキシタヨトウ、ムラサキアカガネヨトウ、マエグロシラオビアカガネヨトウ、コゴマヨトウ、トビイロアカガネヨトウ、ヨスジアカヨトウ、シロナヨトウ、クシナシスジキリヨトウ、キバネシロテンウスグロヨトウは記録が少なく分布状況からみても注目種である。

1. *Sidemia bremeri* (Erschoff) (3730)

クロピロードヨトウ 注目種

北海道、本州の内陸草原及び盆地に産し、岡山県でも得られている。年1回、8月に出現し局地的な分布をする。県下からは関宮町から得られた記録が1例知られるだけである。

[採集記録]

関宮町(轟,24.VIII.1979,1♂,木下總一郎¹¹³)

2. *Apamea sodalis* (Butler) (3733)

チャイロカドモンヨトウ

カドモンヨトウによく似ているが、翅表は濃い褐色で亜外縁部は背黒色部を表す。この属の中では暖

帯性の種で、関東南部以西の本州、四国、九州、対馬、屋久島、沖縄に産する。年1回、5月頃に羽化し、アシボソなどイネ科植物につく。県下ではこれまで波賀町、青垣町、南淡町の5ヶ所で記録されているだけで局地的な種と思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂,高島昭;引原,8.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵;同,15.VI.1988,1♂,高島昭¹⁴)
 関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂,高島昭)
 青垣町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁴)
 南淡町(阿万上町,22.V.1985,-,藤平明¹⁵⁷)

3. *Apamea aquila* (Donzel) (3735)

アカモクメトウ

前翅は赤褐色で、腎状紋の周囲、及び外縁に微小な白色点を表す。垂外縁線は淡色で、その外側は暗色を呈する。北海道から九州にかけての本土域と対馬に普通に産する。年1回の発生と思われる。幼生期は日本では記録がない。県下では全域に記録が散見でき、発生地での個体数は多いが決して普通種というわけではない。低山地から山地帯にかけてが分布の中心であると思われる。

【採集記録】

神戸市(世継山,6.VI.1992,1♀,岡村八郎*)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♀,夏秋ほか⁵³)
 大河内町(長沢,29.VI.2000,1♀,高島昭)
 波賀町(坂の谷,12.VIII.1998,1♂;10.IX.1998,2♂;25.IX.1998,1♀,高島昭;引原,25.VII.1988,1♂,高島昭¹⁴)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 大屋町(横行溪谷,25.VI.1999,1♂;6.VII.1999,1♂,高島昭)
 水ノ山(---,遠山ほか³⁴)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭;鉢伏高原,20.VII.1989,1♂,一ノ本明英*;同,24.VII.1974,1♀,山本義丸*;水ノ山,23.VII.1954,1♀,山本義丸¹⁵⁴)
 柏原町(柏原,16.VI.1950,1♂,山本義丸*)
 水上町(篠ヶ峰,---,山本義丸¹⁵⁵)
 南淡町(阿万上町,19.IX.1973,-,藤平明¹⁵⁷)

4. *Apamea hamptoni* Sugi (3741)

ネスジシラクモトウ

別名シラクモトウ。前翅はやや幅広く翅頂は突出する。色調には変異がある。日本特産種で、北海道から九州に至る本土域と対馬、隠岐に普通である。伊豆諸島にも記録がある。年1回の発生である。県下では全域から記録があるものの、どこにでも普通にいるわけではなさそうである。発生地での個体数はそれほど少ないものではない。

【採集記録】

神戸市(藍那,7.VI.1988,1♀,中川俊夫*;摩耶山,---,田中蕃¹⁵)
 西宮市(甲陽園,26.V.1970,1♀,阪口浩平*)
 川西市(黒川,7.VI.1997,1♂3♀,高島昭¹⁷¹)
 黒田庄町(喜多,29.V.1959,1ex.,24.VI.1960,1ex.,5.VI.1961,1ex.,9.VI.1962,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 姫路市(太市,---,1991,-,丸谷ほか¹⁵²;同,31.V.1995,1♂,高島昭)
 大河内町(長沢,29.VI.2000,3♂,高島昭)
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁵⁵)

波賀町(坂の谷,5.VI.1998,1♂,高島昭¹⁴;引原,8.VI.1974,1♂2♀;22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵;同,15.VI.1988,1♀;18.VI.1988,1♂2♀;26.VI.1988,1♂1♀;2.VII.1988,1♂1♀,高島昭¹⁴)

温泉町(扇ノ山,---,遠山ほか³⁴)

水ノ山(---,遠山ほか³⁴)

関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,2♂,高島昭)

南淡町(阿万上町,12.V.1959,-;5.V.1961,-,藤平明¹⁵⁷;同,6.V.1972,1♀,登日邦明¹⁵⁸;賀集,29.V.1994,-;27.V.1995,-,藤平明¹⁵⁷;筒井,3.VII.1993,-,藤平明¹⁵⁷;灘黒岩,26.V.1997,-;30.V.1997,-;19.V.1998,-,藤平明¹⁵⁷)

5. *Apamea commixta* (Butler) (3745)

ヒメハガタヨトウ 注目種

前翅はやや赤褐色を帯びた灰褐色で、環状紋は斜傾する楕円形、淡色で中心に褐色影を納める。内横線と外横線は黒色条で連結される。北海道、東北から近畿にかけて分布するが、かなり局地的で個体数は少ないという。年1回夏の発生で、幼生期の記録はない。県下での記録は少なく、神戸市、黒田庄町、波賀町、関宮町で採集されている。兵庫県は分布の西限になっていると思われる注目すべき種である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,15.VI.1963,3♂4♀,田中蕃¹⁵)
 黒田庄町(喜多,14.VI.1960,1ex.,岡本清¹⁵⁶)
 波賀町(引原,9.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴)
 関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♀,高島昭)

6. *Leucapamea kawadai* (Sugi) (3750)

マエアカシロヨトウ 注目種

前翅前縁部より中室内にわたって濃い赤褐色部を表す。その他の部分は地色紫白色で、やや褐色を帯びる。楔状紋は大きく暗褐色、上縁では環は開き、翅表の赤褐色部と連なる。現在のところ日本特産種で、北海道、本州、四国から記録されている。幼生期は不詳。年2回の発生とされている。県下では少ないながら波賀町、関宮町での記録があり、西播北部から但馬にかけての山地帯には広く分布していると思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭;同,22.VI.1974,1♂1♀,遊磨正秀⁵⁵)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)

7. *Leucapamea askoldis* (Oberthür) (3751)

コマエアカシロヨトウ

マエアカシロヨトウに似るが小型で、胸背及び前翅地色は白色に近くやや紫白色を帯びる。北海道から九州までの本土域に産する。年2回の発生であるが幼生期は未知である。県下では前種より多く、西播北部から但馬にかけての山地帯が分布の中心であるが、猪名川町でも記録があり低山地にまで分布を広げているようである。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;20.VIII.1982,2♂;1.

IX.1982,1♂1♀,夏秋ほか²³⁾波賀町(坂の谷,3.VII.1998,1♂;10.IX.1998,1♂,高島昭;
引原,22.VI.1974,1♂,遊磨正秀²⁵⁾;同,5.VIII.1988,1♂,
高島昭¹⁴⁵⁾

村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)

大屋町(横行,23.VII.1957,1♂,山本義丸^{*};横行溪谷,3.IX.
1999,1♂,高島昭)氷ノ山(-.-.-,遠山ほか²⁶⁾)

関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)

8. *Antapamea conciliata* (Butler) (3752)

アオフシラクモトウ

別名シラクモトウともいう。前翅は灰緑色であるが濃淡にかなりの変異がある。翅底から中央部にかけて赤褐色を帯びることがある。翅底に黒色条を表すことはない。♀では内・外横線が後線に向かって白色で染められ、かつ外横線の外側に白色影を表す個体がある。日本の特産種で、関東地方以西の本州、四国、九州のほか、佐渡、対馬、隠岐、伊豆諸島に産する。年1回、初夏に発生する。県下では、神戸・阪神地区で比較的採集されているほか丹波地域、淡路地域で記録がある。山地帯よりむしろ里山から低山地に生息しているようである。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,15.VI.1963,3♀,田中蕃¹³⁾;同,16.VI.1968,
1♂,岡村八郎^{*})川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭¹⁷¹⁾)宝塚市(武田尾,4.VI.1992,1♀,東たか²²⁹⁾)柏原町(柏原,2.VI.1955,2♂1♀,山本義丸^{*})南淡町(阿万上町,12.V.1959,-;5.V.1961,-,藤平明²⁵⁾)9. *Oligia ophiogramma* (Esper) (3754)

クサビヨトウ

前翅前縁部から中室域にかけて楔条紋に連する暗色部を有することで他種と容易に区別できる。北海道から九州に至る本土域に分布するが一般に少ない種である。年1回夏に出現する。ハマニンニク、スキ、ホッスガヤ、クサヨシ、トウモロコシなどを食べるという(小木,1987)。県下での記録はそれほど多くない。平地から低山地にかけて分布しており、西播から但馬にかけての山地帯では得られていない。

[採集記録]

猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,1♀,夏秋ほか²³⁾)宝塚市(武庫川町,17.VI.1982,-,新家勝²⁴⁾)高砂市(-,IX.VI.1963,-,岡本清¹⁶⁴⁾)黒田庄町(喜多,30.VI.1961,lex.;14.VI.1960,lex.;9.VI.
1961,lex.,岡本清¹⁶⁴⁾)八千代町(笠形山,21.VIII.1968,lex.,岡本清²⁰⁴⁾)柏原町(柏原,27.VI.1949,1♀,山本義丸^{*})10. *Oligia fodinae* (Oberthür) (3757)

セアカヨトウ

前翅は暗灰色で、内・外横線の内側はやや褐色を混じ、とくに両線を結ぶ黒色条の下方は後縁まで濃い赤褐色ないし暗褐色を呈する。北海道から九州にかけての本土域と対馬に産する。年1化で夏に出現

する。県下では散発的ではあるが、平地から山地まで幅広く記録がある。

[採集記録]

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか²³⁾)関宮町(鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸^{*};氷ノ山,
23.VII.1954,1♂,山本義丸^{*})南淡町(灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明¹⁶⁵⁾)11. *Sapporia repitita* (Butler) (3761)

サツポロチャイロヨトウ

前翅の色調、斑紋には著しい変異がある。北海道から九州にかけての本土域に分布するほか伊豆の新島でも記録がある。年1回、夏に発生し、幼虫はチシマザサを食べることが判明した(鳥倉,1996)。県下では低山地から山地まで広く分布しているが比較的少なく、西播地域では記録がない。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,15.VI.1963,1♀,田中蕃¹³⁾)猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,1♂,夏秋ほか²³⁾)黒田庄町(喜多,16.VI.1960,lex.,岡本清¹⁶⁴⁾)氷ノ山(-.-.-,遠山ほか²⁶⁾)関宮町(氷ノ山,23.VII.1954,1♀,山本義丸^{122*)})柏原町(柏原,25.VI.1955,1♀,山本義丸^{164*)})南淡町(阿万上町,30.V.1960,-,藤平明²⁵⁾;阿万東町,21.V.
1999,-,藤平明²²⁵⁾)12. *Anapamea cuneatoides* Poole (3763)

カバマダラヨトウ

日本特産種である。暖温帯性の種で主として関東以西の本州と四国、九州で得られている。年1回夏の発生で、かつてヒメカバマダラヨトウとも呼ばれていた。県下では各地で得られているが、東播地域、但馬地域からは記録がない。

[採集記録]

川西市(黒川,13.VII.1996,1♂;10.VIII.1996,1♀;2.VIII.

1997,1♂,高島昭¹⁷¹⁾)猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,14♂,夏秋ほか²³⁾)宝塚市(武田尾,20.VII.1991,1♂,東正雄²²⁾;武庫川町,14.
VII.1984,-,新家勝²⁴⁾)南光町(船越,5.VIII.1963,lex.,岡本清²⁰⁴⁾)三日月町(下本郷,-,VII.1984,-,川副昭人¹²²⁾)青垣町(神楽,2.VIII.1954,1♀,山本義丸^{164*)})北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹⁾)南淡町(阿万上町,10.VII.1972,1♂,登日邦明²⁷⁾)13. *Anapamea incerta* (Staudinger) (3765)

ヒメキイロヨトウ 注目種

本属中最も小型の種で、腹背の冠毛はほとんど認められない。前翅は黄褐色、斑紋の発達程度には変異がある。外横線は鋸歯状を呈する。日本の特産で、北海道、本州、九州北部、小豆島、対馬に産する。やや局地的な産出である。年1回、初夏に発生する。幼生期は未知である。県下ではわずかに鉢伏高原で得られた1例しか記録がない。

[採集記録]

関宮町(鉢伏高原,24.VII.1974,1♂,山本義丸^{164*)})

14. *Bambusiphila vulgaris* (Butler) (3766)

ハジマヨトウ

前翅は灰褐色で腎状紋は斜傾し、その外方を区切る白色条と、その外側から前縁にかけての大きな暗色斑が特徴的である。ハチク、マダケ、モウソウチクなどタケノコの害虫として著名である。本種から九州、対馬、隠岐、沖縄、伊豆諸島などに広く分布する。年1回、夏に発生する。県下での分布は広く平地から山地まで生息している。

【採集記録】

神戸市(有馬,16.VIII.1960,-,森博¹⁰⁵:摩耶山,3.VIII.1968,2♀,岡村八郎*)
川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂;12.X.1996,1♀,高島昭¹⁷¹:平野,29.VII.1992,1♂,東良雄¹⁵⁰)
猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,2♂,夏秋ほか²⁵)
宝塚市(武田尾,20.VII.1991,1♂,東正雄¹⁵⁰)
黒田庄町(喜多,26.VII.1960,2exs.,岡本清¹⁶⁴)
波賀町(坂の谷,26.VIII.1992,1♀,大西秀岳*:同,26.VIII.1988,1♀;31.VII.1998,1♂1♀;12.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,5.VII.1973,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,9.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁶⁵)
三室山(---,遠山ほか³⁶)
三日月町(下本郷,-,VIII.1983,-,川副昭人¹⁰⁴)
温泉町(罫ノ山,11.VIII.1984,1♂,谷田昌也⁶⁷)
生野町(段ヶ峰,6.VIII.1953,1♂,山本義丸*)
大屋町(横行,23.VII.1957,1♂,山本義丸*)
氷ノ山(---,遠山ほか³⁶)
関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,4♂1♀,高島昭:鉢伏高原,24.VII.1974,1♂,山本義丸*:氷ノ山,16.VIII.1955,1♂;11.VIII.1956,1♂1♀,山本義丸*:福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁰)
南淡町(先山,19.VII.1961,-,藤平明³⁵:筒井,15.VII.1993,-,藤平明¹⁰¹)

15. *Atrachea nitens* (Butler) (3767)

ギシギシヨトウ 注目種

本州から九州にかけてと対馬に産する。年1回の発生と思われ、カモジグサが食草として報告されている。県下では猪名川町、黒田庄町、南淡町で記録されているだけで局地的な分布をしており、近年の記録が見られない。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,3♂,-,*)
黒田庄町(喜多,31.V.1960,1ex.;1.VI.1960,2exs.;14.VI.1960,1ex.;24.VI.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
南淡町(阿万上町,3.VI.1961,-,藤平明³⁵:同,19.V.1973,-,藤平明³⁵)

16. *Amphipoea ussuriensis* (Petersen) (3776)

ショウブヨトウ

前翅は黄褐色から赤褐色まで変異があるが、通常は黄褐色である。北海道から九州、屋久島に分布し、本属中で最も分布が広く、近畿以西では本種のみを産するという。年1回、夏に発生するが、幼生期はよくわかっていない。県下では、但馬地域の山地で採集されているが、離れた猪名川町からも得られて

いる。草原的な環境を生息地とするため、やや局地的であるが発生地での個体数は多い。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,2.VIII.1983,1♂,夏秋ほか²⁵)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,2♂,高島昭)
鉢伏山(---,遠山ほか³⁶)
生野町(段ヶ峰,6.VIII.1953,1♂,山本義丸¹⁶⁵*)
氷ノ山(---,遠山ほか³⁶)
関宮町(大久保,3.VIII.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁴:大段ヶ平,21.VII.2000,2♂;4.VIII.2000,4♂3♀,高島昭:鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸¹⁶⁵*:氷ノ山,22.VIII.1954,1♂1♀,山本義丸*)

17. *Gortyna fortis* (Butler) (3781)

ゴボウトガリヨトウ

北海道から九州にかけての本土域に分布する。年1回、秋の発生で、幼生期はよくわかっていないが、タケニグサの茎に潜入した例が報告されている。県下では比較的記録は少ないが、平地から山地まで得られている。出現時期が遅いため記録が少ないが普遍的な分布をするものと思われる。

【採集記録】

神戸市(有馬,3.XI.1947,1♂;17.X.1949,1♂,東正雄¹⁵⁰)
川西市(黒川,1.XI.1997,1♀,高島昭¹⁷¹)
大河内町(長沢,29.X.1999,1♂,高島昭)
三日月町(下本郷,-,X.1984,-,川副昭人¹⁰⁵)
大屋町(氷ノ山,1.X.1999,1♂,高島昭)
関宮町(氷ノ山,23.IX.1955,1♂,山本義丸¹⁶⁵*)

18. *Gortyna basalipunctata* Graeser (3782)

ヒメトガリヨトウ 注目種

ゴボウトガリヨトウによく似ているが、♂の触角は鋸歯状で前種と異なっている。また、胸背は赤褐色を帯び、前翅の黄色部には赤褐色の鱗片を強く混じる。翅底部の白色点はやや大きい。亜基線と内横線の間は一樣に暗色に染められることはない。北海道、本州、九州北部、隠岐に産するが少ない種である。年1回、9月に出現する。幼生期は未知である。県下からは波賀町引原ダムで1例報告されているだけで少ない種と思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,16.IX.1977,1♂,木下總一郎¹⁰⁶)

19. *Sesamia turpis* (Butler) (3783)

テンオビヨトウ

北海道から九州の本土域と対馬、屋久島、奄美、沖縄に広く分布する。イネ科の根茎部につくと推定されるが、幼生期の記録はない。県下では各地に産し、普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,田中善¹³:同,2.VI.1968,1♀,岡村八郎*)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,近藤伸一¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,2♂,夏秋ほか²⁵)
宝塚市(武田尾,12.VIII.1991,1♂,東正雄¹⁵⁰:西谷西部,8.VIII.1987,1♂,東正雄¹⁵⁰:南口2丁目,22.V.1979,-,新家

勝⁶⁶⁾

黒田庄町(喜多,24.V.1960,lex.;17.VIII.1960,lex.,岡本清¹⁰⁾)

加美町(千ヶ峰,13.VIII.1961,lex.,岡本清)

波賀町(引原,13.VII.1975,1♀,遊磨正秀³⁾)

上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭¹⁰⁾)

南光町(船越,5.VIII.1963,lex.,岡本清¹⁰⁾)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶⁾)

大屋町(横行,23.VII.1957,1♀,山本義丸⁹⁾)

氷ノ山(---,遠山ほか³⁶⁾)

柏原町(柏原,---,山本義丸¹⁰⁾)

津名町(大町畑,3.V.1972,1♂,登日邦明²⁶⁾)

南淡町(阿万上町,19.V.1961,-,藤平明⁹⁾: 同,6.V.1972,1♂,

登日邦明²⁶⁾: 同,10.V.1996,-,藤平明¹⁰⁾: 灘大川,7.V.

1994,-,藤平明¹⁰⁾)

20. *Archana sparganii* (Esper) (3786)

キスジウスキヨトウ 注目種

前翅は淡い灰褐色で、ハガタウスキヨトウのように強く橙色を帯びることはない。腎状紋の下端は情報に開く黒色の半環で表される。産卵管は強壯で先端部は強く腹方に屈し、第8節からは尾方に向かう1対の突起がある。北海道から九州北部にかけて分布し、低層湿地から内陸の盆地まで分布する。年1回、夏の終わりに出現する。幼虫はガマ属やミクリ属など水生植物の茎中に潜む。県下では神戸市で2例が知られているだけである。大阪府では箕面公園で記録がある。本種の生息環境が特殊であることから分布は極めて限られていると思われる、再確認が必要である。

【採集記録】

神戸市(北区甲柴台,14.VIII.1973,1♀,松本健詞¹⁰⁾: 摩耶山,---,岡村八郎¹⁰⁾)

21. *Coenobia orientalis* Sugi (3788)

テンスジウスキヨトウ 注目種

本属中では小型で、体は細く繊細、頭部は濃い黒褐色を呈する。前翅前縁及び翅脈は暗色。外横線は翅脈状の黒色短条をもって表される。外縁部には暗色点列を表す。日本の特産で、北海道及び本州の低層湿原で得られるが、産出は局地的で個体数も少ない。6~7月に出現する。県下では柏原町で古い記録が1例あるだけで、再確認が必要である。

【採集記録】

柏原町(柏原,20.VI.1954,1♂,山本義丸⁹⁾)

22. *Rhizodra lutosa* (Hübner) (3792)

ヨシヨトウ 注目種

北海道から中部地方にかけて分布する種で、湿地の蛾である。年1回秋に発生し、幼虫はヨシの茎に食い込む。県下では宝塚市で1例の報告があるのみである。発生しているとすれば武庫川の河原と思われるが、再確認が必要である。

【採集記録】

宝塚市(武庫川町,15.X.1978,-,新家勝⁶⁶⁾)

23. *Ctenostola sparganoides* (Bang-Haas) (3795)

クシヒゲウスキヨトウ 注目種

♂の触角は両櫛歯状、前翅翅頂は尖り、翅表は淡い灰褐色、中室端から外縁に向かう暗色条を有し、腎状紋は暗色点で表される。北海道、本州、九州、隠岐に産するが、産出は局地的である。内陸部から日本海側に産地が多いという。近県では大阪府箕面公園、三重県久居市で記録がある。年1回秋に出現する。県下では、西播地域の上郡町、波賀町で筆者が採集しているほか、今のところ報告はない。

【採集記録】

波賀町(引原,22.IX.1988,1♀,高島昭¹⁰⁾)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♀,高島昭¹⁰⁾)

24. *Sesamia azumai* (Sugi) (3796)

チビウスキヨトウ 注目種

♂の触角は葉片状、前翅前縁は黒褐色、前縁では翅脈を残して暗色を帯びる。中室下縁は暗色に縁取られ、翅頂からも暗色影が斜走する。中室下端に小黒点を有し、白色鱗片で縁取られる。香川、高知、福岡、鹿児島各県と対馬、屋久島、奄美、沖縄、石垣、西表に分布するが、淡路島の南淡町からも記録されている。今のところ、県下からはこれが唯一の産地である。

【採集記録】

南淡町(阿万上町,4.VI.1987,-,藤平明⁹⁾: 同,27.VIII.1991,-,藤平明¹⁰⁾)

25. *Sesamia inferens* (Walker) (3798)

イネヨトウ

東北地方から九州に至る本土域と伊豆諸島、屋久島のほか南西諸島に広く分布している。イネ科作物の害虫で、イネ、トウモロコシなど多くの作物に被害する。県下では各地に分布するが西播地域からは記録がない。おそらく記録漏れと思われるし、各地にごく普通に産しているはずであるが、案外記録には残っていないというのが実情である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,田中蕃¹³⁾: 同,15.IX.1967,1♀,岡村八郎¹⁰⁾)

西宮市(-,31.VIII.1967,1♀;18.IX.1967,1♂,阪口浩平^{*)})

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか¹³⁾)

宝塚市(武庫川町,31.V.1979,-,新家勝⁶⁶⁾: 同,11.X.1989,-,新家勝¹⁰⁾)

黒田庄町(喜多,19.V.1959,lex.;16.V.1960,lex.;27.IX.1960,lex.;20.V.1961,lex.,岡本清¹⁰⁾)

氷ノ山(---,遠山ほか³⁶⁾)

柏原町(柏原,25.V.1954,1♂1♀;18.V.1955,1♂,山本義丸⁹⁾)

津名町(大町畑,28.IV.1972,1♀;30.IV.1972,1♂,登日英樹²⁶⁾: 同,3.V.1972,3♀;5.V.1972,2♂,登日邦明²⁶⁾)

三原町(八木義宜,23.V.1984,-,3.V.1990,-,藤富正昭¹⁰⁾)

南淡町(阿万上町,30.IV.1960,-;15.V.1968,-,藤平明²⁵⁾: 同,22.IV.1973,-;30.X.1991,-,藤平明¹⁰⁾)

26. *Kumasia kumaso* (Sugi) (3799)

クマソオオトウ 注目種

前翅は灰黒色、褐色を帯び、とくに腎状紋の外方と莖中脈も赤褐色部を表す。日本特産種で産出は局地的。本州では新潟、長野、福井、静岡、岡山県などから産し、四国、九州、新島でも得られている。年1回夏に発生し、幼生期は不明である。県下では三日月町での記録が報告されているだけで極めて局地的で少ない種と思われる。

[採集記録]

三日月町(下本郷,9.VII.1983,3exs.,川副昭人¹⁰⁰)

27. *Triphaenopsis lucilla* Butler (3801)

シロホシキシタヨトウ

前翅の斑紋は大変変化に富む。北海道から九州、対馬に産する。年1回夏に発生し、幼虫はネマダリダケ、クロチクなどササ、タケ類につく。県下では各地で普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,---,田中馨¹¹³:同,30.VII.1967,1♀,岡村八郎*:六甲山,3.VII.1988,1♂,岡村八郎*)

西宮市(甲陽園,5.VI.1970,1♂;10.VII.1970,1♂;12.VII.1970,1♀;14.VII.1970,2♂;16.VII.1970,1♂,阪口浩平*)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀;20.VIII.1982,1♀;1.IX.1982,1♀,夏秋ほか¹¹⁴)

宝塚市(武庫川町,22.VIII.1987,-,新家勝¹¹⁵)

黒田庄町(喜多,20.VII.1960,1ex.,岡本清¹¹⁶)

姫路市(広瀬山,6.VII.1996,1♂,高島昭¹¹⁷)

波賀町(引原,12.VIII.1974,2♂3♀,遊磨正秀⁵⁵:同,22.IX.1981,1♂,相坂耕作:同,5.IX.1987,1ex.;9.VII.1988,1♀;16.VII.1988,1♂;29.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,3♂;20.VIII.1988,1♀;1.IX.1988,1♂,高島昭¹¹⁸)

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1ex.,谷田昌也⁷⁷)

鉢伏山(---,遠山ほか³⁰)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♀,遊磨正秀⁷⁰)

氷ノ山(---,遠山ほか³⁰)

関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,3♂;4.VIII.2000,3♂,高島昭:鉢伏高原,15.VIII.1989,1♀,一ノ本明英*:同,24.VII.1974,1♂4♀,山本義丸*:氷ノ山,16.VIII.1955,3♂1♀;11.VIII.1956,1♀;14.VII.1968,1♀(飼育),山本義丸*)

氷上町(篠ヶ峰,26.VIII.1952,1♂,山本義丸*)

北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹:同,7.VII.1972,1♂,登日邦明²⁷)

南淡町(灘黒岩,29.VI.1997,-;29.VI.1998,-,藤平明¹⁰⁷:福良向谷,6.VII.1996,-,藤平明¹⁰⁷)

28. *Triphaenopsis jezoensis* Sugi (3802)

エソキシタヨトウ

シロホシキシタヨトウに似るが、前翅は暗緑色を帯びることがなく、おおむね黒褐色である。後翅の黄色部はやや色が薄く、面積はやや広くその外縁は明瞭な角をなす。北海道、中部以北の山間地では多いが西南暖地では局地的で少ない。近畿では奈良県荒神岳で得られている。四国、九州では中央高地に分布する。年1回の発生で夏の終わりから秋にかけて羽化する。幼生期は不明である。県下では能勢妙見山、波賀町、温泉町、大屋町から記録されている。

記録が少ないのは発生時期がやや遅いこともあると思われる。六甲山、但馬中央山地や播州高原などの山地帯を調べればまだ産地は見つかるだろう。

[採集記録]

能勢妙見山(29.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁶⁵)

波賀町(坂の谷,24.VIII.1991,2♂,大築正弘*:同,26.VIII.1992,3♂1♀,熊代直生*:同,26.VIII.1992,1♂,八木剛*:同,26.VIII.1988,1♂,高島昭¹¹³:同,19.VIII.1998,1♂;28.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,12.IX.1992,1♀,熊代直生*)

温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♂,谷田昌也⁷⁷)

大屋町(氷ノ山,1.X.1999,1♂1♀,高島昭:横濱溪谷,11.IX.1999,1♂;8.X.1999,1♀,高島昭)

29. *Triphaenopsis cinerescens* Butler (3803)

ウスキシタヨトウ 注目種

前・後翅とも灰色でやや褐色を帯びる。後翅の黄色部はくすんだ淡黄白色。♀では外横線の外側に紫灰色影が現れることがある。冷温帯性の蛾で北海道から九州に至る本土域に産するが、暖地では山地性となる。年1回夏の終わりに出現する。県下では摩耶山と氷ノ山周辺から記録があるだけで、前種とともに局地的で少ない。波賀町坂の谷は前種との混生地であるが、前種よりも個体数は少なく、発生時期もやや遅いようである。山地帯を中心に調査する必要がある。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,3.VIII.1968,2♂,岡村八郎*)

波賀町(坂の谷,17.IX.1998,1♂,高島昭¹¹⁸)

関宮町(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*)

30. *Triphaenopsis postfalva* (Leech) (3804)

ナカジロキシタヨトウ 注目種

環・腎状紋は白色環を有し、もしくは黄白色に染められる。後翅の黄色部はくすんだ淡黄色で後縁部の灰色影は弱く、中室端の黒色条は常に現れる。北海道、本州(岡山県以東)、剣山、石鎚山の冷温帯域に生息する。兵庫県からは未知であったが筆者は関宮町で本種を確認している。また、県立人と自然の博物館での標本調査の結果、六甲山産の本種の標本を確認した。山地帯には少ないながら分布するものと思われる。

[採集記録]

神戸市(六甲山,29.VII.1989,2♂,岡村八郎*)

関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,3♂,高島昭)

31. *Polyphaenis subviridis* (Butler) (3806)

ウスアオヨトウ

暖温帯性の蛾で宮城県以南の本州から九州にかけてと対馬に産するがやや局地的な産出とされる。年1回初夏に出現する。幼生期は未知である。県下では南部の低山地を中心に一部丹波地域にまで分布が伸びている。但馬地域では記録が見られない。

[採集記録]

神戸市(有馬,25.VI.1960,-,森博¹⁰⁵)
 西宮市(生瀬,12.VI.1970,1♂,遊磨正秀²¹)
 猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,7♂,夏秋ほか⁴⁵)
 宝塚市(南口2丁目,15.VI.1982,-,新家勝¹⁶⁴)
 高砂市(-,16.VI.1965,-,岡本清¹⁵⁸)
 黒田庄町(喜多,2.VII.1959,1ex.;14.VI.1960,1ex.;15.VI.1960,1ex.;12.VI.1961,2exs.,岡本清¹⁵⁸)
 三日月町(下本郷,-.VI.-.,川副昭人¹⁰⁴)
 柏原町(柏原,15.VI.1956,1♀,山本義丸*)
 市島町(妙高山,20.VI.1955,1♂,山本義丸*)
 南淡町(阿万上町,31.V.1992,-,藤平明¹⁶⁷)

32. *Euplexia lucipara* (Linnaeus) (3809)

アカガネヨトウ

北海道から九州まで本土域に普通に産する。対馬からも記録がある。年2回の発生で幼虫は多食性である。永らくムラサキアカガネヨトウと混同されていたので、古い記録では確認が必要である。県下では淡路、東播地域を除く各地に産地が点在しているが、山地帯が分布の中心でやや少ない種という印象である。

【採集記録】

能勢妙見山(29.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁴⁵)
 大河内町(長沢,6.VI.2000,1♀,高島昭)
 波賀町(坂の谷,6.VI.1992,1♂,熊代直生*:同,15.V.1998,1♂;27.V.1998,1♂;12.VIII.1998,1♂,高島昭;引原,22.VI.1974,1♀;2.VI.1975,1♀;22.V.1976,1♀,遊磨正秀²⁵;同,9.VIII.1988,2♂,高島昭¹⁴)
 三日月町(下本郷,-.VI.-.,川副昭人¹⁰⁴)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀²⁶)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀²⁷;横濱溪谷,8.V.1999,1♂;15.V.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴)

33. *Euplexia koreaeplexia* Bryk (3810)

ムラサキアカガネヨトウ 注目種

アカガネヨトウに酷似し、最近まで混同されていた。斑紋はほぼ同様であるが、翅表の色調はやや紫色を帯び、とくに外横線の外側は赤紫色を呈する。腎状紋はやや黄色みが強い。主に北海道から中部以北の本州で記録されているが、奈良県荒神岳、剣山でも得られている。兵庫県では青垣町、氷ノ山から記録がある。これらの記録はアカガネヨトウとして報告されていたもので、再検討の結果本種であることがわかったものである。山地帯でのアカガネヨトウの記録は見直す必要があるとともに、西播から但馬にかけての山間部では広く分布すると思われる。

【採集記録】

村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 関宮町(氷ノ山,22.VIII.1954,1♂1♀,山本義丸^{219a})
 青垣町(神楽,3.VIII.1954,3♂,山本義丸^{219a})

34. *Euplexia illustrata* (Graeser) (3811)

シラオビアカガネヨトウ

冷温帯性の種で、北海道から中部山地にかけては

普遍的に分布するが、西南日本では山地帯に限られる。年1回6~7月に出現する。県下では産地は限られており、西播から但馬の山地帯で記録されているほか、宝塚市でも得られており注目される。低山地帯を丹念に探せば、南部低山地から東播、丹波地域でも産地が見つかる可能性がある。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部,18.VI.1977,1♂;24.IX.1977,1♀,東正雄¹³⁰)
 波賀町(引原,18.VI.1988,1♀;16.VII.1988,1♀,高島昭¹⁴)
 温泉町(罫ノ山,-.-.-,遠山ほか³⁶)
 大屋町(横濱溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(鉢伏高原,10.VII.1989,1♂,一ノ本明英*)

35. *Euplexia albovitata* (Moore) (3812)

マエグロシラオビアカガネヨトウ 注目種

シラオビアカガネヨトウに似るが、前翅前縁は基部において黒褐色を帯び、そのため内横線部の白色帯は前縁と接しない。また亜外縁部では細い黒色条がその外側の墨色の部分を縁取るが、シラオビアカガネヨトウのように幅広くない。暖帯性の種で、本州では東京都高尾山を北限とし、和歌山県、岡山県に記録がある。そのほか四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島に分布する。年2回の発生と推定されている。県下からは神戸市、関宮町、南淡町から記録がある。関宮町大段ヶ平は標高1,200mの地点であるが、暖地性の種もよく見られ、山麓から吹き上げられてくるものと思われる。局地的な種と思われるが、全国の分布の特徴から今後六甲山系南麓や淡路島でも採集される可能性が高い。

【採集記録】

神戸市(世継山,17.V.1992,1♀,岡村八郎*)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)
 南淡町(筒井,12.IX.1993,-,藤平明¹⁶⁷;灘黒岩,19.V.1998,-,藤平明¹⁶⁷)

36. *Phlogophora aureopuncta* (Hampson) (3816)

モンキアカガネヨトウ

前翅は暗い紫灰色でやや紫黒色を帯びる。斑紋は鮮明で、とくに中心部に黄色部を有する腎状紋が顕著である。北海道から九州までの本土域に分布し、夏に山間地で得られる。幼生期は未知である。県下では西播から但馬地域にかけての山地帯に限って得られているが、分布地での個体数は少なくないものと思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,26.VIII.1988,1♂;27.V.1998,1♂;5.VI.1998,1♂,高島昭;引原,29.VI.1974,1♂,遊磨正秀²⁵;同,15.VI.1988,1♂;7.IX.1988,1♀,高島昭¹⁴)
 大屋町(横濱溪谷,4.VI.1999,1♂;20.VIII.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(氷ノ山,22.VIII.1954,1♂;16.VIII.1955,2♂,山本義丸*)

37. *Chandata bella* (Butler) (3813)

コゴマヨトウ 注目種

北海道から九州にかけて産するが、西南日本では産出は局地的である。湿地性の蛾でスゲ類やカヤツリグサを食べる。兵庫県からの記録は少なく、筆者が氷ノ山周辺の山地帯で採集しているだけである。夏遅く出現する蛾として知られるが、関宮町では7月はじめに成虫を確認している。

[採集記録]

波賀町(坂の谷, 25.IX.1998, 1♂, 高島昭¹⁸⁶)
関宮町(大段ヶ平, 1.VII.2000, 1♂, 高島昭)

38. *Euplexia albilineola* (Wileman & South)

(3814) トビイロアカガネヨトウ 注目種

前翅は暗い茶褐色で横線は茶白色。環・腎状紋の輪郭は白色を帯びて鮮明である。日本の特産種で、福島県只見町、奈良県吉野、愛知県稲武町、福井県鳩ヶ湯、広島県豊平町、香川県高松市、福岡県北九州市などで記録があるが局地的で少ない。年1回秋に出現する。大図鑑によると兵庫県では氷ノ山が記録地としてあがっているが詳細は不明であり、採集記録からは割愛した。また、川西市で記録が1例ある。かつてウスイロアカガネヨトウと呼ばれていた。

[採集記録]

川西市(-, 23.X.1987, 1♂, 越野誠一郎¹⁸⁵)

39. *Euplexidia angusta* Yoshimoto (3818)

ホソバミドリヨトウ

暖温帯性の種で近畿地方以西、四国、九州、対馬、屋久島に分布する。幼生期は不詳である。近畿地方は分布の北限に当たりいずれも局地的なようで三重、滋賀、京都、和歌山の各府県から報告があるが、最近大阪府からも記録された。県下では各地で採集されており、それほど少ない種ではない。秋の記録が多いが、筆者は波賀町や大屋町で6月にも採集しているし、南淡町では5月に採れているので年2回発生しているものと思われる。

[採集記録]

神戸市(北区甲栄台, 7.X.1973, 1♂, 松本健嗣⁸⁰)
宝塚市(南口2丁目, 15.X.1987, -, 新家勝¹¹³)
波賀町(坂の谷, 8.VI.1991, 1♂; 6.VI.1992, 2♂3♀; 6.VI.1992, 1♂, 熊代直生^{*}; 同, 6.VI.1992, 1♀, 八木剛^{*}; 同, 5.VI.1998, 1♂; 17.IX.1998, 1♂, 高島昭^{*}; 引原, 1.X.1988, 2♂; 7.X.1988, 1♀, 高島昭¹⁸⁶)
三日月町(下本郷, 6.X.1983, 1♂, 川副昭人^{*})
温泉町(弱ノ山, 7.VII.1991, 1♂, 八木剛^{*})
大屋町(氷ノ山, 1.X.1999, 1♂, 高島昭^{*}; 横濱溪谷, 25.VI.1999, 1♂; 11.IX.1999, 1♂, 高島昭)
南淡町(灘黒岩, 30.V.1997, -; 19.V.1998, -, 藤平明¹⁸⁷; 福良向谷, 2.XI.1996, -, 藤平明¹⁸⁷)

40. *Xenotrachea nipponica* Kishida & Yoshimoto

(3820) シロフアオヨトウ

北海道から九州までの本土域と対馬に産するが個

体数は少ない。年1回夏に発生する。幼生期は未知である。県下からは波賀町、大屋町及び関宮町から記録されている。県下の山地帯に広く分布するとと思われるが調査が必要である。

[採集記録]

波賀町(坂の谷, 5.VI.1998, 1♂; 12.VIII.1998, 1♂, 高島昭¹⁸⁶: 引原, -, VIII.1982, 1♂, 相坂耕作)
大屋町(横濱溪谷, 15.V.1999, 1♂; 4.VI.1999, 1♂; 8.VIII.1999, 1♀, 高島昭)
関宮町(氷ノ山, 16.VIII.1955, 1♂, 山本義丸^{*})

41. *Actinotia intermediata* (Bremer) (3823)

コモクメヨトウ

北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島、石垣島に分布する。オトギリソウを食べ、年2回発生する。県下では、各地から記録されているが、西播地域からは未知である。局地的ではないがそう多くない種と思われる。

[採集記録]

神戸市(有馬, 1.VII.1961, -, 森博¹⁰⁵: 摩耶山, -,-,-, -, 田中蕃¹¹⁾)
能勢妙見山(26.VIII.1983, 1♂; 29.VIII.1983, 1♂, 夏秋ほか¹⁶⁾)
宝塚市(武庫川町, 3.VII.1987, -, 新家勝¹¹³)
黒田庄町(喜多, 3.X.1960, 1ex.; 23.VIII.1962, 1ex., 岡本清¹⁶⁾)
豊岡市(正法寺, 2.X.1998, 1ex., 柴田剛)
関宮町(氷ノ山, 16.VIII.1955, 1♂, 山本義丸^{*})
柏原町(柏原, 22.IX.1948, 1♀, 山本義丸^{*})
津名町(大町畑, 12.IV.1972, 1♀, 登日邦明¹⁸⁾)

42. *Dypterygia caliginosa* (Walker) (3824)

クロモクメヨトウ

暖温帯性の種で、関東以西の本州、四国、九州にかけて分布する。年2回の出現である。スジグロモクメヨトウと酷似しているが、棲み分けをしており、中部山地以北にスジグロモクメヨトウを産し、現状では混生地は見つかっていない。県下では東播地域を除く各地で得られているが、前種同様それほど多い種ではないようである。

[採集記録]

神戸市(有馬, 12.VI.1961, -, 森博¹⁰⁵: 摩耶山, -,-,-, -, 田中蕃¹¹⁾: 同, 16.VIII.1984, 1♂, 岡村八郎⁸⁾)
川西市(黒川, 7.VI.1997, 1♂, 高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷, 21.VII.1982, 1♂; 12.VIII.1982, 1♂; 20.VIII.1982, 1♀, 夏秋ほか¹⁷⁾: 下阿古谷, 6.IX.1984, 1♀, 岡村八郎⁸⁾)
波賀町(引原, 12.VIII.1974, 1♂; 2.VI.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁾)
氷ノ山(-,-,-, -, 遠山ほか³⁶⁾)
柏原町(柏原, 9.VIII.1941, 1♀, 山本義丸^{*})
洲本市(宇山, 27.VIII.1981, 1ex., 林俊雅⁷⁾)
南淡町(阿方上町, 30.V.1961, -, 31.VII.1961, -, 藤平明³⁵: 同, 26.IV.1986, -, 藤平明¹⁸⁷: 筒井, 12.VIII.1993, -, 藤平明¹⁸⁷)

43. *Axylia putris* (Linnaeus) (3826)

モクメヨトウ

北海道から九州に至る本土域に普通に産する。年2回の出現で、幼虫は各種草本につくというが日本

では詳しく調査されていない。県下では各地で記録があり、普通種である。

【採集記録】

神戸市(藍那,25.V.1985,1♂;7.VI.1988,1♂,中川俊夫*;
摩耶山,---,田中蕃¹³;同,27.VIII.1967,1♂;3.VIII.
1968,1♂,岡村八郎*)
川西市(黒川,7.IX.1996,1♀,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂;12.VIII.1982,1♀;1.
IX.1982,3♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(武庫川町,18.IX.1981,-,新家勝⁷⁸;同,12.VI.1988,-,
新家勝⁷⁸)
黒田庄町(喜多,4.IX.1959,lex.;13.V.1960,lex.;12.IX.1960,
lex.;23.IX.1962,lex.,岡本清¹⁶⁴)
姫路市(太市,---,1991,-,丸谷ほか¹²⁵)
波賀町(坂の谷,10.VII.1998,1♂;24.VII.1998,1♂,高島昭
:引原,29.VII.1988,1♂;1.IX.1988,1♀,高島昭¹⁶⁴)
三日月町(下本郷,---,VI.---,IX.---,IX.1984,-,川副昭人¹²⁴)
豊岡市(山本,27.V.1973,-,山根政之⁶³)
大屋町(横行溪谷,23.VII.1999,1♂,高島昭)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁶)
関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;21.VII.2000,1♂,高島昭
:氷ノ山,22.VIII.1954,1♂,山本義丸*)
柏原町(柏原,21.V.1955,1♀,山本義丸*)
宍塚町(神楽,13.VIII.1953,1♀,山本義丸*)
市島町(妙高山,29.V.1954,1♀,山本義丸*)
北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♂,登日邦明⁷⁷)
津名町(大町畑,3.V.1972,1♂,登日邦明⁷⁷)
南淡町(阿方上町,30.V.1961,-;18.V.1973,-,藤平明⁷⁵;同,6.
V.1972,1♂,登日邦明⁷⁵;同,22.IX.1984,-;2.V.1986,-,藤
平明⁷⁷;簡井,12.IX.1993,-,藤平明⁷⁷)

44. *Trachea atriplicis* (Linnaeus) (3828)

シロスジアオトウ

前翅Cu₂脈の基部にやや褐色を帯びた淡色紋があり、近似種と区別できる。北海道から九州にかけての本土域と対馬に産する。年2回の発生で、幼虫は多食性、ギンギシヤイヌタデなどにつく。県下では各地から記録があり、比較的普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(大池,22.VIII.1938,lex.,高橋寿郎⁷;摩耶山,---,田中蕃¹³;同,18.VIII.1988,1♀,岡村八郎*)
西宮市(上腹原町,23.IX.1969,1♀,東正雄¹³⁰;甲陽園,12.VII.1970,1♂;20.VII.1970,1♂,阪口浩平*)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(光明町,8.VIII.1988,-,新家勝⁷⁸;南口2丁目,22.V.1979,-,新家勝⁶⁶)
高砂市(-,27.VIII.1968,lex.,岡本清¹⁶⁴)
黒田庄町(喜多,16.V.1960,lex.;27.V.1961,lex.;16.VI.1961,lex.,岡本清¹⁶⁴)
三日月町(下本郷,---,VI.---,IX.---,IX.1984,-,川副昭人¹²⁴)
豊岡市(正法寺,13.IX.1998,lex.,柴田剛)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁶)
柏原町(柏原,28.VI.1950,1♀;20.VII.1954,1♀;8.VII.1955,1♀;23.VIII.1960,1♂(飼育),山本義丸*)
津名町(大町畑,1.VII.1972,1♂;6.VII.1972,1♂;31.VII.1972,1♀,登日邦明⁷⁷)
三原町(八木養宜,24.V.1982,-,藤富正昭¹²¹)
南淡町(阿方上町,5.VI.1970,-;18.VI.1973,-,藤平明⁷⁵;賀集,24.IV.1994,-,藤平明⁷⁷)

45. *Trachea punnikonis* Matsumura (3829)

オオシロテンアオトウ

前翅斑紋はシロスジアオトウに似るが、環状紋に接しCu₂脈に達する白色斑の形状によって区別できる。北海道から九州に至る本土域に産し、年2回の発生が確認されている。県下では記録は少なく、前種に比べると局地的で、産地も山間部に偏っている。大阪府箕面公園からも記録があり、北摂から六甲山系、東播北部あたりからも見つかると思われる。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭:引原,1.VI.1974,1♂;5.VIII.1978,1♀,遊磨正秀⁷⁵)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁶)
関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂,高島昭:福定,18.VIII.1964,lex.,岡本清¹⁶⁴)
柏原町(柏原,15.VI.1956,1♀,山本義丸*)
市島町(妙高山,28.VIII.1954,1♀,山本義丸*)

46. *Trachea tokiensis* (Butler) (3831)

ハガタアオトウ

北海道、本州、四国に分布し、年2回の発生である。幼生期は不詳である。コアオバハガタヨトウともいう。県下では波賀町から氷ノ山にかけての山地帯から記録されているだけで少ないが、大阪府箕面公園でも記録があり、各地の山地では探せば見つかるものと思われる。発生地では比較的普通に見られる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂;11.VI.1999,1♂,高島昭:引原,8.VI.1974,1♂;2.VI.1975,1♂;8.V.1977,1♂,遊磨正秀⁷⁵)
大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂;4.VI.1999,1♂;11.VI.1999,1♂,高島昭)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁶)
関宮町(氷ノ山,6.VII.1956,1♀,山本義丸*)

47. *Karana laetevirens* (Oberthür) (3833)

アオアカガネヨトウ

北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島、奄美大島に産する。年1回の発生と思われ、夏に見られる。幼生期は不詳である。県下では山地性で、六甲山系、能勢妙見山、波賀町、大屋町と市島町で記録があるだけで少ない種である。

【採集記録】

神戸市(六甲山,15.VIII.1985,1♂,岡村八郎*)
能勢妙見山(26.VIII.1983,1♂;29.VIII.1983,1♀,夏秋ほか⁷³)
波賀町(坂の谷,28.VIII.1988,2♂,高島昭)
大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♀;11.IX.1999,1♀,高島昭)
市島町(妙高山,28.VIII.1954,1♂,山本義丸*)

48. *Dipterygina cupreotincta* Sugi (3834)

ウスクロモクメヨトウ

北海道から九州にかけての本土域と対馬、屋久島に産するが、やや暖帯性で北方では少ない。年1回春に出現し、ムラサキシキブを食樹としている。県

下では平地から山地まで広く分布する。次種より記録は少ないが、混生していると思われ注意が必要である。

【採集記録】

宝塚市(武庫川町,1.VI.1982,-,新家勝¹¹⁵)
大河内町(長沢,29.VI.2000,1♂,高島昭)
波賀町(坂の谷,26.VI.1998,1♂,高島昭;引原,8.VI.1974,1♂;2.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁵⁵;同,7.VI.1988,2♀;18.VI.1988,1♂;26.VI.1988,2♂,高島昭¹⁴⁵)
相生市(瓜生,17.VI.1989,1♂;23.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵³)
大屋町(横濱溪谷,11.VI.1999,1♂;25.VI.1999,1♂,高島昭)

49. *Dipterygina japonica* (Leech) (3835)

コクロモクメヨトウ

前種と近縁で、斑紋もよく似ているが、前翅の色調はより黒褐色で、後縁角にある翼状の紋はいつそう白色を帯びる。年1回、春に出現する。幼虫はムラサキシキブにつく。県下では南部地域で採集されている。東播地域には記録がないが息息すると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中春¹³)
安富町(大河溪谷,26.IV.1999,1♂,高島昭)
波賀町(引原,3.V.1979,1♀,遊磨正秀⁵⁵;同,15.VI.1988,1♀,高島昭¹⁴⁵)
相生市(瓜生,30.IV.1997,1♂,高島昭¹⁷⁸)
三日月町(下本郷,-.IV.-,-.V.1984,-,川副昭人¹⁰²)
洲本市(中津川,7.IV.1972,1♂,登日邦明²⁵)
南淡町(阿万上町,17.IV.1983,-;23.IV.1985,-,藤平明⁹⁹;同,6.V.1986,-,藤平明¹⁰⁷)

50. *Pygopteryx suava* Staudinger (3837)

ヨスジアカヨトウ 注目種

前翅外縁は強く波状を呈する。前翅は橙紅色、前縁及び横線は白色でやや紅色を帯び、大変美しい種である。北海道から九州に至る本土域に分布するが局地的で、年1回秋に出現する。幼生期は全く不明である。昔はシャチホコガ科の種として扱われていた。県下からは今のところ波賀町から記録されているだけの珍品であるが、記録が少ないのは発生時期がやや遅いためであろう。西播から但馬地域にかけての山地帯では新しい産地が見つかると思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,10.IX.1998,1♂;17.IX.1998,1♂,高島昭¹⁴⁶)
引原,16.IX.1977,2♂,木下総一郎¹⁰⁰;同,17.IX.1988,1♂,高島昭¹⁴⁵)

51. *Spodoptera litura* (Fabricius) (3840)

ハスモンヨトウ

雌雄異型で、♀では色調が単調となり、斑紋は一見網目状の外見を示す。熱帯アジアが分布の中心で西南日本一帯に広く分布し、北方へ移動を繰り返す。年数回の発生で種々の農作物の害虫として著名である。県下では各地の耕作地周辺に普通で、温暖な地

域ほど多い。但馬地域では記録が少ないが平坦地ではごく普通と思われる。秋に向かって個体数が増加する。

【採集記録】

神戸市(住吉山手9丁目,11.XI.1985,1♀,岡村八郎* : 諏訪山公園,-.X.1985,-,山口福男²⁰⁰;摩耶山,-,-,-,-,田中春¹³;同,4.XI.1985,1♂,岡村八郎*)
尼崎市(南塚口町,8.VIII.1983,1♂,夏秋優²⁰⁵)
西宮市(-,31.VIII.1967,2♀;4.IX.1967,2♀;15.IX.1967,1♀;20.IX.1967,1♀;12.X.1967,1♂;12.X.1967,1♀;13.X.1967,1♀;16.X.1967,1♀;24.X.1967,1♀,阪口浩平*)
伊丹市(-,5.XI.1958,1♀,山本義丸*)
猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(光明町,11.X.1990,-,新家勝¹⁰⁰;逆瀬川,28.IX.1990,1♂,東正雄¹⁰⁰;西谷西部,19.IX.1987,1♂;16.VI.1990,1♀,東正雄¹⁰⁰;宝梅2丁目,2.XI.1987,1♂,東正雄¹⁰⁰;南口2丁目,17.X.1978,-,新家勝⁶⁴)
高砂市(-,1.XI.1967,-,岡本清¹⁴⁴)
黒田庄町(喜多,10.XI.1960,lex.;14.IX.1961,lex.;21.IX.1961,lex.;3.X.1961,lex.;21.X.1961,lex.;26.X.1961,lex.,岡本清¹⁴⁴)
波賀町(坂の谷,19.VIII.1998,1♂,高島昭)
上郡町(上郡,22.X.1995,1♂,高島昭;船坂,23.X.1997,1♂,1♀,高島昭)
三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人¹⁰²)
豊岡市(正法寺,22.IX.1998,1ex.;1.X.1998,2ex.;7.X.1998,1ex.,柴田剛)
関宮町(氷ノ山,16.VIII.1955,1♂,山本義丸*)
水上郡(-,-,-,-,-,山本義丸*)
津名町(大町畑,25.VIII.1970,1♂,登日英樹⁹⁷;同,31.VII.1972,1♂,登日邦明²⁵)
洲本市(厚浜,-,-,-,-,藤富正昭¹⁰¹;宇山,14.IX.1981,2exs.;8.XI.1981,lex.,林俊雅⁷⁴)
南淡町(阿万上町,6.IX.1958,-;19.IX.1973,-,藤平明⁹⁵;同,8.X.1994,-,藤平明¹⁰⁷;智集,5.X.1994,-,藤平明¹⁰⁷;灘大川,25.X.1994,-,藤平明¹⁰⁷;灘黒岩,7.X.1997,-;11.X.1998,-,藤平明¹⁰⁷;福良向谷,6.VII.1996,-,藤平明¹⁰⁷)

52. *Spodoptera mauritia* (Boisduval) (3841)

シロナヨトウ 注目種

亜熱帯アジア、オーストラリア、南太平洋地域に広く分布し、日本では島嶼を含む西南部に広く分布している。農作物の害虫として著名である。県下ではこれまで記録がなかったが、最近南淡町から報告されている。いずれも秋の記録で、定着しているものか一時的な飛来によるものかはわからないが、おそらく今後も南部平坦地の野菜園芸地帯を中心に発見される可能性がある。

【採集記録】

西宮市(-,18.X.1967,1♂,阪口浩平*)
南淡町(阿万上町,8.X.1994,-,藤平明¹⁰⁷;灘黒岩,11.X.1998,-,藤平明¹⁰⁷)

53. *Spodoptera exigua* (Hübner) (3843)

シロイチモジヨトウ

前翅は明るい灰褐色で、楔状紋は真円形に近く黄褐色で中心に暗色の核を含む。世界的に周知の害虫の一つでほぼ全世界の暖帯から熱帯に分布している。日本ではあまり多くないというが、近年野菜園芸地

帯を中心に被害が目だつようになってきた。県下では上郡町、三原町、南淡町の3カ所からのみの報告であるが、実際には淡路、瀬戸内海沿岸の野菜園芸地帯では、本種による被害が見られる。

【採集記録】

上郡町(船坂,23.X.1997,1♂,高島昭)
三原町(八木養宜,24.VIII.1990,-,藤富正昭¹⁹¹)
南淡町(阿万上町,19.X.1984,-;1.XII.1985,-,藤平明⁹⁹:同,
11.X.1985,-,藤平明¹⁹⁷:賀集,5.X.1994,-,藤平明¹⁹⁷)

54. *Spodoptera depravata* (Butler) (3844)

スジキリヨトウ

北海道から九州に至る本土域と対馬、八丈島に分布し、種子島、宮古島にも記録がある。シバの害虫として有名であるが、拡散移動をすることはないという。年2回以上の発生である。県下では各地に普通であるが、南部や平坦部ほど多い傾向にある。シバを食べるので、市街地の公園や川の堤防、ゴルフ場などでも発生している。

【採集記録】

神戸市(藍那,17.V.1986,1♂,中川侯夫*: 飯山公園,-,VII.1985,-,山口福男²⁰¹: 摩耶山,-,-,-,-,田中蕃¹²:同,10.IX.1967,1♂,岡村八郎*)
尼崎市(南塚口町,4.V.1982,1♂;10.V.1982,1♂;11.V.1982,1♂;21.IX.1982,1♀,夏秋優²⁰⁶)
西宮市(-,14.IX.1952,1♀;31.VIII.1967,5♀;1.IX.1967,1♀;3.IX.1967,2♀;4.IX.1967,1♂1♀;5.IX.1967,5♂;7.IX.1967,4♂3♀;14.IX.1967,1♂,阪口浩平*: 甲陽園,26.V.1970,2♂,阪口浩平*)
川西市(黒川,13.VII.1996,2♂,近藤伸一¹⁷¹:同,7.IX.1996,4♂1♀;3.V.1997,1♂;20.IX.1997,2♂1♀,高島昭¹⁷¹: 平野,5.VIII.1991,1♀;20.IX.1991,1♂;25.IX.1992,2♂,東良雄¹⁵⁵)
猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,2♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(光明町,13.VIII.1988,1♂,新家勝¹⁵⁰: 武田尾,13.VII.1991,1♂;12.VIII.1991,3♂,東正雄¹⁵⁰: 西谷西部,28.V.1978,1♂;27.VII.1987,1♂;3.IX.1988,1♂,東正雄¹⁵⁰: 南口2丁目,28.V.1979,-,新家勝¹⁵⁰)
高砂市(-,15.V.1963,lex.,岡本清¹⁵⁴)
黒田庄町(喜多,15.IX.1959,lex.;1.X.1959,lex.;21.V.1960,lex.;24.V.1960,lex.;15.VII.1960,lex.;6.IX.1960,lex.,岡本清¹⁵⁴)
姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹²⁸:同,17.V.1995,1♂,高島昭)
相生市(瓜生,13.V.1989,1♂;24.V.1989,2♂,高島昭¹⁷⁰:同,25.IX.1997,1♂,高島昭)
上郡町(船坂,23.X.1997,1♂,高島昭¹⁵⁹: 行頭,15.V.1995,2♂;7.IX.1995,2♂,高島昭¹⁵⁹)
三日月町(下本郷,-,IX,-,-,川副昭人¹⁰⁰)
柏原町(柏原,25.VIII.1951,1♂;25.V.1954,1♂1♀;16.V.1955,1♂,山本義丸*)
市島町(妙高山,13.VI.1953,1♀,山本義丸*)
淡路町(鶴崎,-,V.2000,-,藤富正昭²¹¹)
津名町(大町畑,3.V.1972,2♀;5.V.1972,1♀,登日邦明²⁵:同,6.VII.1972,1♀;31.VII.1972,1♀,登日邦明²⁷)
三原町(八木養宜,14.V.1990,-,藤富正昭²¹¹)
南淡町(阿万上町,14.V.1961,-;17.VI.1961,-,藤平明³⁵:同,5.IX.1987,-;2.VII.1991,-,藤平明¹⁹⁷: 灘大川,9.IX.1990,-,藤平明¹⁹⁷: 灘黒岩,4.V.1998,-;28.VIII.1998,-,藤平明¹⁹⁷)

55. *Spodoptera ciliium* Guenée (3845)

クシナシスジキリヨトウ 注目種

旧熱帯に広く分布し、日本では小笠原諸島、沖縄本島以南で記録がある。シバを食べる。本土域では記録がなく、県下では南淡町で1例の採集報告があるが、おそらく南方よりの飛来個体かそれに基づいて一時的に発生したものと思われる。

【採集記録】

南淡町(大川,25.X.1994,-,藤平明¹⁹¹)

56. *Aethis cinerascens* (Motschulsky) (3847)

クロテンヨトウ

本州から九州に至る本土域と対馬に産する。年1回、春に発生する。幼生期は未知である。県下では南部地域に産する。おそらく県下全域に分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(伊川谷町,5.IV.1998,7♂,高島昭: 摩耶山,-,-,-,-,田中蕃¹²:同,21.IV.1968,1♂,岡村八郎*: 六甲山,25.IV.1985,2♂,岡村八郎*: 同,5.IV.1991,1♀;6.IV.1991,2♂,川副昭人*)
川西市(黒川,18.V.1996,1♂,高島昭¹⁷¹: 平野,11.V.1992,1♂,東良雄¹⁵⁵)
宝塚市(南口2丁目,25.IV.1983,-,新家勝¹⁵⁰)
高砂市(-,4.VIII.1962,lex.,岡本清¹⁵⁴)
黒田庄町(喜多,3.IV.1959,lex.;18.V.1961,lex.;30.V.1961,lex.,岡本清¹⁵⁴)
波賀町(引原,22.VI.1977,1♂1♀;3.V.1978,1♂,遊磨正秀³¹)
相生市(瓜生,9.IV.1997,1♂,高島昭¹⁷⁰)
三日月町(下本郷,-,IV,-,-,V.1984,-,川副昭人¹⁰⁰)
津名町(大町畑,5.IV.1972,1♀,登日邦明²⁵)

57. *Aethis lapidea* (Wileman) (3851)

ヒメウスグロヨトウ

前翅は淡い灰褐色、腎状紋はほとんど認めがたい。外横線は繊細な鋸歯状を呈する。後翅は暗灰色である。北海道から九州にかけての本土域と対馬に産し、年2回の発生と思われる。幼生期はわかっていない。県下では普通種で、記録のない東播地域や記録が少ない但馬地域などにも広く分布していると思われる。

【採集記録】

西宮市(生瀬,31.VIII.1971,1♂,遊磨正秀³¹)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹:同,7.IX.1996,1♂,近藤伸一¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹²⁸: 広嶺山,22.VI.1996,1♀,高島昭¹⁶⁰)
波賀町(引原,29.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴⁵)
三日月町(下本郷,-,V.1984,-,川副昭人¹⁰⁰)
氷ノ山(-,-,-,-,遠山ほか³⁶:同,-,-,-,-,山本義丸¹²²)
柏原町(柏原,16.VI.1952,1♀;22.VII.1952,1♀;28.IV.1955,1♀,山本義丸*)
青垣町(神楽,2.VIII.1954,1♀,山本義丸*)
北淡町(常隆寺山,19.VIII.1970,1♂,登日邦明²⁵)
南淡町(阿万上町,1.VI.1985,-,藤平明⁹⁹:同,4.X.1987,-,藤平明¹⁹⁷: 福良向谷,5.VI.1996,-;18.VIII.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

58. *Aethis correpta* (Püngeler) (3855)

エゾウスイロヨトウ

以前は *A. subargentea* (Caradja) とされていたがより古い有効名が発見され、種名が変更された経緯がある (Kononenko et al., 1998)。

北海道から九州に至る本土域に分布する。年2回の発生で幼虫は枯葉を食べるといふ。県下からは宝塚市、黒田庄町、柏原町から記録がある。この仲間は地味で同定が厄介なこともあって飛来しても見過ごされていることが多いようで、充分調査すれば産地が見つかると思われる。

〔採集記録〕

宝塚市(武庫川町, 25.IV.1985, -, 新家勝⁹⁶: 同, 8.V.1988, -, 新家勝⁹⁵)
 黒田庄町(喜多, 2.V.1959, lex.; 19.IV.1960, 2exs.; 30.IV.1960, lex.; 9.V.1960, 2exs.; 7.VII.1960, lex., 岡本清¹⁰⁶)
 柏原町(柏原, 16.IV.1956, 1♂, 山本義丸*)

59. *Athetis dissimilis* (Hampson) (3856)

テンウスイロヨトウ

前種に似るが翅型が若干異なる。前翅は黒褐色で灰白色の鱗片を混じ、腎状紋は黒色環を有し、外側に微小な白色点がある。本州から九州にかけてと対馬、新島に分布する。年2回の発生と思われる。県下では神戸・阪神地域でよく見つかっているほか、各地に点々と記録がある。局地的な強いというより調査が不十分なものと思われる。

〔採集記録〕

神戸市(摩耶山, -,-,-, -, 田中蕃¹³)
 西宮市(生瀬, 4.IX.1970, 1♂, 遊磨正秀³¹)
 猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♀; 1.IX.1982, 3♀, 夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(光明町, 26.VIII.1988, 1♀, 新家勝¹⁰⁰: 武庫川町, 22.V.1979, -, 新家勝⁹⁶: 同, 4.VI.1988, -, 新家勝¹⁰⁰)
 黒田庄町(喜多, 2.VI.1959, lex.; 7.IX.1962, lex., 岡本清¹⁰⁶)
 波賀町(引原, 10.IV.1998, 1♀, 高島昭)
 三日月町(下本郷, -.IV.-, -.IX.-, -, 川副昭人¹⁰⁵)
 村岡町(鉢北高原, 19.VIII.2000, 1♂, 高島昭)
 大屋町(横濱溪谷, 4.VI.1999, 1♀, 高島昭)
 津名町(大町畑, 3.V.1972, 1♂, 登日邦明⁷⁵)
 南淡町(賀集, 27.V.1995, -, 藤平明¹⁰⁷: 筒井, 15.V.1993, -, 藤平明¹⁰⁷: 福良向谷, 7.IX.1996, -, 藤平明¹⁰⁷)

60. *Athetis albisignata* (Oberthür) (3857)

シロテンウスグロヨトウ

北海道から九州に至る本土域に普通に見られ、年2回の発生である。各種の草本を食べ、枯葉も食べるという。県下においても各地に普通である。

〔採集記録〕

神戸市(有馬, 8.VIII.1960, -, 森博¹⁰⁵: 摩耶山, 7.IX.1961, 1♀; 27.VIII.1962, 1♀, 田中蕃¹³)
 川西市(黒川, 10.VIII.1996, 1♂, 近藤伸一¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷, 1.IX.1982, 1♀, 夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(光明町, 10.IX.1988, -, 15.IX.1988, -, 新家勝¹⁰⁰: 武田尾, 12.VIII.1991, 1♂ 1♀; 15.VIII.1991, 1♂ 1♀, 東正雄¹⁰⁰: 西谷西部, 14.V.1977, 1♂ 1♀; 20.VIII.1988, 1♂; 25.V.1991, 1♂ 1♀, 東正雄¹⁰⁰: 南口2丁目, 5.IX.1979, -, 新家勝⁹⁶: 武庫川町, 16.VI.1988, -, 20.X.1988, -, 新家勝⁹⁶)
 黒田庄町(喜多, 26.V.1960, lex.; 16.VIII.1960, lex.; 17.VIII.

1960, lex., 岡本清¹⁰⁶)

姫路市(太市, -.1991, -, 丸谷ほか¹²⁶)
 安富町(大河溪谷, 29.V.1999, 1♂, 高島昭)
 波賀町(引原, 4.VII.1973, 2♂ 1♀; 22.VI.1974, 1♀, 遊磨正秀³¹)
 三室山(-,-,-, -, 遠山ほか²⁶)
 三日月町(下本郷, -.VI.-, -.VII.1983, -.VIII.1983, -, 川副昭人¹⁰⁵)
 温泉町(扇ノ山, 7.VII.1991, 1♂, 熊代直生*: 同, 7.VII.1991, 1♀, 八木剛*)
 氷ノ山(-,-,-, -, 遠山ほか²⁶)
 関宮町(氷ノ山, -.1954, -, 山本義丸⁵)
 柏原町(柏原, 25.VIII.1951, 1♀; 3.VI.1953, 1♀; 27.VI.1954, 1♀; 21.VII.1954, 1♀, 山本義丸*)
 洲本市(宇山, 21.V.1981, lex., 林俊雅⁷⁸)
 南淡町(阿万上町, 21.V.1961, -, 藤平明¹⁰⁷: 同, 14.IX.1995, -, 藤平明¹⁰⁷: 筒井, 12.VIII.1993, -, 藤平明¹⁰⁷: 灘黒岩, 19.V.1998, -, 藤平明¹⁰⁷)

61. *Athetis pallidipennis* Sugi (3858)

キバナシロテンウスグロヨトウ 注目種

シロテンウスグロヨトウと酷似するが、前翅はやや明るい灰褐色で、黄色味を帯びる。各横線は明瞭、とくに中横影は拡散せず細い暗色条として表される。中室端の白色点は鮮明、内包を暗色影で包まれる。北海道から中部地方にかけての内陸部に点々と産地がある。年1回、夏に出現する。兵庫県は大岡鑑の記述によると分布域には入っていないが、鉢伏高原で記録がある。

〔採集記録〕

関宮町(鉢伏高原, 24.VII.1974, 1♂ 2♀; 23.VII.1975, 1♀, 山本義丸¹⁰⁵)

62. *Athetis stellata* (Moore) (3859)

ヒメサピスジヨトウ

北海道から九州に至る本土域と対馬、八丈島、南西諸島にかけて広く普通に産する。年数回の発生ではないかと思われる。幼虫は各種草本や枯葉を食べる。県下では平地から山地まで各地に広く分布し、個体数も多い。

〔採集記録〕

神戸市(藍郡, 31.V.1985, 1♂, 中川侯夫*: 摩耶山, -,-,-, -, 田中蕃¹³: 同, 5.IX.1967, 1♂; 10.IX.1967, 1♂; 1.IX.1968, 1♂, 岡村八郎*)
 尼崎市(南塚口町, 9.V.1982, 1♂; 12.V.1982, 1♂, 夏秋優¹⁰⁶)
 川西市(黒川, 7.IX.1996, 1♂; 7.VI.1997, 1♂, 高島昭¹²¹)
 猪名川町(上阿古谷, 1.IX.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)
 黒田庄町(喜多, 1.X.1959, lex.; 26.IV.1960, lex.; 26.V.1960, lex.; 27.IX.1960, lex.; 29.IX.1960, lex.; 1.X.1960, 2exs.; 10.V.1961, lex.; 18.V.1961, lex., 岡本清¹⁰⁶)
 姫路市(太市, 31.V.1995, 1♂ 1♀, 高島昭)
 大河内町(長沢, 12.X.1999, 1♂, 高島昭)
 波賀町(坂の谷, 25.IX.1998, 1♂, 高島昭: 引原, 8.VI.1974, 1♂ 1♀; 11.X.1975, 2♂; 22.X.1975, 1♂, 遊磨正秀³¹: 同, 9.VIII.1988, 1♀; 26.VIII.1988, 1♀, 高島昭¹⁰⁵: 同, 19.VIII.1998, 1♂, 高島昭)
 相生市(瓜生, 1.VI.1989, 1♀; 7.VI.1989, 1♂, 高島昭¹²¹)
 三日月町(下本郷, -.IX.-, -.IX.1983, -, 川副昭人¹⁰⁵)
 村岡町(鉢北高原, 19.VIII.2000, 1♀, 高島昭)
 朝来町(須留ヶ峰, 9.VI.1975, 2♂, 遊磨正秀³¹)

大屋町(横河溪谷,4.VI.1999,1♀;6.VII.1999,1♀,高島昭)
水ノ山(---,遠山ほか³⁵)
関宮町(水ノ山,---,1955,--,山本義丸³)
柏原町(柏原,8.VIII.1954,1♀,山本義丸³)
氷上町(香良,30.VIII.1954,1♀,山本義丸³)
市島町(妙高山,28.VIII.1954,2♂1♀,山本義丸³)
北淡町(常隆寺山,19.VIII.1970,1♀;7.VII.1972,2♂,登日邦明²⁵)
津名町(大町畑,3.V.1972,1♂,登日邦明²⁵)
南淡町(阿方上町,30.V.1960,--;19.IX.1973,--,藤平明⁹⁹:同,
26.III.1985,--,藤平明¹⁹⁷:筒井,12.IX.1993,--,藤平明¹⁹⁷:
灘黒岩,4.V.1997,--;26.V.1997,--;29.VI.1997,--,藤平明¹⁹⁷:
福良向谷,5.VI.1996,--;18.VIII.1996,--,藤平明¹⁹⁷)

63. *Athetis lineosa* (Moore) (3860)

シロモンオビヨトウ

北海道から九州までの本土域に産する。伊豆諸島の記録もある。年2回以上の発生である。日本では幼生期は不明である。県下に広く分布し、個体数も多く前種同様普通種である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,---,--,田中菴¹³:同,27.VIII.1967,1♂,岡村八郎³)
川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂;7.VI.1997,1♂,高島昭¹⁷¹:
平野,26.VI.1992,2♂,東良雄¹⁵³)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;20.VIII.1982,1♀;1.
IX.1982,3♂4♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(武田尾,29.V.1992,1♂;26.VI.1992,1♀,東正雄¹³⁰:
南口2丁目,7.VII.1988,--,新家勝¹³³:武庫川町,17.V.
1982,--,新家勝¹³³)
黒田庄町(喜多,18.VIII.1964,lex.,岡本清¹⁶⁴)
波賀町(坂の谷,5.VI.1998,1♂;20.VI.1998,1♂;3.VII.1998,
1♀;12.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,5.VII.1973,1♂;8.
VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵²:同,2.VII.1988,1♂1♀;16.VII.
1988,1♂,高島昭¹⁴²)
三室山(---,遠山ほか³⁵)
三日月町(下本郷,--VI,--IX,--VIII.1983,--,川副昭人¹⁰⁴)
豊岡市(山本,31.V.1973,--,山根政之⁴³)
温泉町(扇ノ山,7.VII.1991,2♂,熊代直生³:同,7.VII.
1991,1♂,八木剛¹)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)
大屋町(横河溪谷,25.VI.1999,1♂;3.IX.1999,1♂,高島昭)
水ノ山(---,遠山ほか³⁵)
関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,1♂1♀,高島昭:鉢伏高原,
24.VII.1974,1♀,山本義丸³:22.VII.1954,1♀;6.VII.
1956,1♂,山本義丸³)
氷上町(香良,30.VIII.1954,1♀,山本義丸³)
青垣町(神楽,29.VI.1952,1♀;25.VIII.1956,1♀,山本義丸³)
市島町(妙高山,24.VIII.1955,1♀,山本義丸³)
南淡町(阿方上町,--IX.1959,--,藤平明³³:同,6.V.1972,1♂,
登日邦明²⁵:同,9.V.1974,--,藤平明⁹⁹:筒井,12.IX.1993,--,
藤平明¹⁹⁷:灘大川,31.VIII.1994,--,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,30.
V.1997,--,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,7.IX.1996,--,藤平明¹⁹⁷)

64. *Hoplodrina euryptera* Boursin (3864)

フタホシヨトウ

以前は *H. implacata* (Wileman & West) として知られていたが、*implacata* は台湾の固有種であるとして種名が変更された (Kononenko, 1997)。前翅は

灰褐色で環・腎状紋は大きく、明瞭な淡色環で包まれる。やや産地は局限され、群馬、長野に少数の記録があるほか、近畿以西の本州、四国、九州北部、対馬で得られている。年1回、9月に出現する。兵庫県からはこれまで神戸市、波賀町、大屋町で記録がある。少ないながら山地帯に広く分布している可能性が高い。

[採集記録]

神戸市(六甲山,15.IX.1985,1♂,岡村八郎³)
波賀町(坂の谷,17.IX.1998,1♂,高島昭¹⁶⁶:引原,16.IX.
1977,3♂2♀,木下総一郎¹⁶⁰)
大屋町(横河溪谷,3.IX.1999,1♂,高島昭)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Apamea striata* Haruta (3734)

スジアカヨトウ

北海道、本州中部以北の山地に産するが、四国剣山の高地でも見つかっている。年1回夏に出現する。幼生期は不詳である。兵庫県からは未発見である。

2. *Xenapamea pacifica* Sugi (3762)

マダラヨトウ

日本の特産種で、北海道、秋田、宮城、新潟、長野、山梨、静岡、和歌山、奈良、高知、福岡、熊本、沖縄の諸県で記録があるが、兵庫県からは未記録である。

3. *Hydraecia amurensis* Staudinger (3772)

フキヨトウ

北海道から四国にかけてと宮崎県で記録があり、年1回、夏から初秋にかけて羽化する。幼虫はフキの茎や根を加害するものと推定されていたが、アキタブキ、ハンゴンソウから発見された(小木, 1986)。県下からは記録がないが、おそらく湿生草原に分布しているものと思われる。

4. *Celaena leucostigma* (Hübner) (3780)

ショウブオオヨトウ

ユーラシア種で冷温帯域が分布の中心である。日本では北海道及び本州中北部に分布するが、小豆島にも遺存的に分布している。ハマニンニク、ススキ、ホッソガヤ、アブラガヤ、カヤツリ的一种などを食べる(小木, 1997)。トウモロコシへの食害も報告されている。

5. *Stauropora celsia* (Linnaeus) (****)

コンゴウミドリヨトウ

1992年に初めて発見された美しい緑色の蛾で、石灰岩質の山地との関わりが強いという。現在のところ隣の岡山県が唯一の産地となっており、兵庫県からは発見されていない。

6. *Nonagria puengeleri* (Schawerda) (3784)

オオチャバナエトウ

湿地を生息地とし、局地的な分布をする種で、北海道東部、秋田、岩手、新潟、千葉、神奈川、群馬、長野、岐阜、岡山、福岡の各県と小豆島に記録がある。兵庫県からはまだ発見されていないが、中央山地に残された湿地や東播地域を中心とした溜池周辺では発見の可能性がある。年1回、夏の発生で、ガマの茎に食い込むことが知られている。

7. *Archanares resoluta* Hampson (3785)

ハガタウスキヨトウ

テンオビヨトウと外観上よく似ているが、頭部に先端二又し両側に鋸歯を備えた強壯かつ三角形の突出部を有することで区別できる。日本特産で北海道から近畿、中国地方まで分布するが兵庫県からは未知である。年1回夏に出現し、低層湿原でも得られるというから湿地との関わりが強い種であろう。

8. *Archanares aerata* (Butler) (3787)

ガマヨトウ

日本の特産であるが低層湿地に生息するため局地的な産出を示す。北海道の十勝、釧路地方、秋田市、能代市、群馬県板倉町、新潟県、市川市、石川県、四日市市、愛知県美和町、西尾市などで得られている。近畿地方以西の産出状況は明らかでない。

9. *Sesamia confusa* (Sugi) (3791)

カバイロウスキヨトウ

北海道、本州、四国、対馬、屋久島などに分布する。食草はススキ(工藤,1988)。草原性の種であり、湿地との結びつきは弱い。年1回春に出現する。兵庫県での記録はないが、中央山地周辺の草原地帯に分布しているかもしれない。

10. *Asidemina inexpecta* (Sugi) (3800)

エチゴハガタヨトウ

日本特産種で局地的な分布をする。新潟県では比較的多く得られているということで、その隣接の福島県、長野県でも記録が多いという。それ以外では東京都奥多摩地方、岡山県高梁市、伊豆諸島で得られている。最近になって御在所岳、広島県神石町、山口県長門峡でも確認されている。幼生期は不明であるが、石灰岩などの超塩基性岩との関わりが深いのではないかとされている。年2回の発生である。

11. *Colocastis albifera* Sugi (3808)

ソトシロフヨトウ

北海道、本州、四国に分布し、主に山間地に産出する。年2回の発生と推定されている。兵庫県では

発見されていない。

12. *Valeria dilutiapicana* Filipjev (3817)

シロモンアカガネヨトウ

日本の特産種で、青森、岩手、新潟、栃木、群馬、長野、岐阜、東京都奥多摩、熊本各都県から記録がある。ハルニレを食べる。年1回晩春に発生する。兵庫県からは未知であるが、局地的ながらハルニレが分布する但馬山地で発見されるかもしれない。

13. *Auchmis saga* (Butler) (3821)

セプトモクメヨトウ

北海道南部から九州に至る本土域と三宅島で記録されているがかなり局地的な分布をする種のようなのである。兵庫県下からは記録がない。年2回の発生で、メギ属を食べているという。

14. *Sasunaga longiplaga* Warren (3836)

ホソバヨトウ

熱帯アジアの広域分布種であるが日本での土着性は薄く、三重県、九州(英彦山、大分県)、御蔵島、対馬、屋久島、沖縄、石垣島などで得られているが南方からの飛来によると思われる。移動性が大きい種なので、兵庫県でも採集される可能性が高い。

15. *Athetis gluteosa* (Treitschke) (3849)

ヒメオビウスイロヨトウ

ユーラシア種で、日本では東北から中部にかけての内陸地方と福岡県、対馬から採集されている。年2回の発生で各種草本を食べるといわれている。県下では発見されていない。なお、筆者の上郡町¹⁵⁹⁾での記録は誤同定である。

16. *Athetis lepigone* (Möschler) (3854)

コウスイロヨトウ

北海道、東北、関東地方のほか、北陸、山陰地方の沿岸部に記録があり、香川県、北九州及び対馬にも産する。兵庫県からは記録がないが、但馬の沿岸部を探せば見つかる可能性は高いと思われる。

<参考文献>

- Kononenko et.al,1998, In-sects of Korea 3,p.1-507.
 Kononenko,1997,蛾類通信193,p.291-297.
 工藤,1988,蛾類通信150,p.392-394.
 小木,1986,蛾類通信136,p.168.
 小木,1987,蛾類通信140,p.236-239.
 小木,1997,蛾類通信140,p.236-239.
 鳥倉,1996,COENONYMPHA41,P.830-832.

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)